

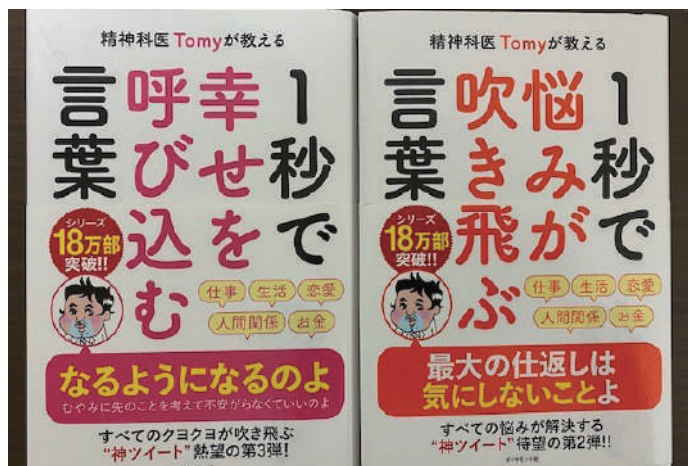


👤 1秒で不安が吹き飛ぶ言葉!

この本を見つけたのは3年前の冬。息子と一緒に本屋に行って、参考書を探していたとき、(あ、これだ!) そう感じて思わず手に取っていました。

精神科医のTommyさんの素敵な言葉がこの本の中にはぎっしり詰まっています! その勘は当たっていました。実際に一人の受験生がその本で救われたのです。その後「1秒で悩みが吹き飛ぶ言葉」「1秒で幸せを呼び込む言葉」

「1秒で元気が湧き出る言葉」と4冊を手に入れました。どれも、いい言葉で溢れているので、時々「たかやん日記」のなかで紹介しています。



多くの子ども達が言葉で傷ついています。先生達も言葉で傷つくことがありますでしょう。

でも、言葉による傷は言葉によって癒されます。人を傷つける言葉を平気で言う人にTommyさんのような言葉を求めても無理です。だから、**自分で癒し**の言葉を口にすればいいんです。

自分(1秒で悩みが吹き飛ぶ言葉から)

「一番癒してくれる人は、一番怒ってくれる人は、一番泣いてくれる人は、一番人生に影響を与えてくれる人は、そう自分なの。」 (Tommy) 🤔

2022年6月30日発行



今年も栗原一丁目公園で2500匹の稚鮎の放流が行われました。🤔

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
東京青山生まれ。
新宿区立西戸山中
石神井高、北海道大
庭球部卒。

1977年新設の新座
五中に赴任。日本

でただ一人、新任で中三の担任になる。

しかも、2学年の理科の授業も受け持たされたのだから、**新任いじめ**もいいところだった。おまけに「日本一有名な体育祭にしろ!」「テニス部は優勝させろ!」と当時の校長、中村徹一郎に言われる。(無茶)

五中・六中・二中と21年間、担任一筋。しかし、最後の二中で管理職と正面衝突。

3年2組の教え子達と一緒に学校を卒業する。カナダ・アメリカに行った後、石神に「たかやん塾」を開校。新堀から石神に戻り、今も子ども達と一緒に学んでいる。

写真は稚鮎の放流に参加した、**川掃除仲間**の引間太一。若くて心優しくて、格好いい東久留米市議会議員です。🤔

👤 昔の写真から・・・



左の小さい女性が僕の祖母です。小学校の先生でした。そして、右のちょっといかつい男性が僕の祖父です。彼も小学校の先生でした。二人とも**超怖い**というイメージだった

のですが、こうして見ると、お祖母ちゃんは結構**可愛い**し、お祖父ちゃんも**格好いい**。そして、何となく僕と似ているような気がするのです。お祖父ちゃんは相当運動神経もよかったですし、頭もツルツルだったからかなあ。



上の写真は僕が大学3年の時の写真です。後列の髪がボウボウなのが僕で、その隣り（右端）が2年生の圭司です。

この年の冬に突然教師を目指す僕はどうしても札幌の本学で「教職課程」を取る必要がありました。その僕の代わりに函館の**授業もテストも**受けてくれたのが有難い後輩の圭司です。当時でも**バレたら退学**のようなことを僕の夢の為に彼はやってくれました。

『俺の家で三食全部食べていいから授業頼む！』『任せて下さい！』

卒業式で卒業証書を僕の代わりに受け取ってくれたのも圭司です。先生達は**誰も気づかなかった**そうです。彼がいたから僕は先生になれたのです。



その結果、僕を待っていてくれたのがこの五中1期生の子達です。

当時23歳の僕とは8歳しか離れていなかったの、本当に弟、妹のような存在でした。この子達が僕に教師として生きる「**自信**」をつけてくれました。



18年前の写真です。この子が2年前に突然「留学したい」と言いはじめたのです。『コロナで大変だから無理だよお父さん、そんなにお金ないし・・・大学に合格してからにしたら？』

「今、行きたいんだ。お父さん、お母さんを一緒に説得して！」と諦めませんでした。そして何とか母親を説得して、自分で色んな国にメールを出し始めたのです。そして、「1年で戻って来るから」と**約束して**カナダに旅立ちました。問題はそれから。ある日「こっちの高校を卒業したい。」と言って来て今度は「カナダの大学に行きたい」そしてUBC（ブリティッシュコロンビア大）の**合格通知**を見せた空。誰に似たのかホント**嘘つき**なんだから（笑）

